

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：京都の海の沿岸動物学入門 ILAS Seminar :Introduction to marine animals in the coastal areas of Kyoto			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育研究センター 助教 鈴木 啓太 フィールド科学教育研究センター 准教授 甲斐 嘉晃 フィールド科学教育研究センター 助教 邊見 由美		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	7 (7) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	農学部総合館2階北側 フィールド研会議室 (N283) (北部構内)			使用言語	日本語
キーワード	多様性生物学 / 魚類 / プランクトン / ベントス / 日本海						
[授業の概要・目的]							
京都の海をフィールドに日本海沿岸域の環境と生物の特徴と多様性を学ぶ。 まず、吉田キャンパスにおける3回の講義と参加者同士の議論を通し、日本海沿岸域の魚類とプランクトン（浮遊生物）およびベントス（底生生物）の形態や生態と生息環境の関係を学習する。 次に、フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所において2泊3日の実習に参加し、教育研究船による海洋観測や生物採集、サンプル分析やデータ解析、卸売市場の見学などを行い、京都の海の魅力と不思議を体感する。 最後に、吉田キャンパスにおいて（またはオンラインにて）講義と実習を通して学んだ成果を各自が発表し、参加者同士で意見交換を行う。							
[到達目標]							
・ 日本海沿岸域の環境と生物の特徴と多様性を理解する。 ・ 沿岸域における生態学的調査の基礎を習得する。 ・ 海洋生態系の主な構成要素とそれらの相互関係を理解する。							
[授業計画と内容]							
第1回講義 6月27日（金）「日本海の環境とプランクトン」 （担当：鈴木；場所：農学部） ・ 海洋生態系の主な構成要素とそれらの相互関係を説明する。 ・ 日本海の環境とプランクトンの特徴を解説する。 ・ 担当教員による関連研究の最新成果も紹介する。							
第2回講義 7月4日（金）「日本海のベントス」 （担当：邊見；場所：農学部） ・ ベントスの多様性とその生息環境について解説する。 ・ 日本海におけるベントスの特徴について解説する。 ・ 担当教員による関連研究の最新成果を紹介する。							
第3回講義 7月11日（金）「日本海の魚と水産業」 （担当：甲斐；場所：農学部） ・ 日本海の魚の特徴とその由来を解説する。 ・ 日本海を代表する魚種とその漁業を解説する。							
				ILASセミナー：京都の海の沿岸動物学入門(2)へ続く↓↓↓			

ILASセミナー：京都の海の沿岸動物学入門(2)

- ・日本海の魚類多様性に関する議論をする。

実習 7月19日（土）～21（月・祝）「京都の海の魅力と不思議を体感」

- （担当：鈴木・甲斐・邊見；場所：舞鶴水産実験所）
- ・西舞鶴駅に集合・解散（公共交通機関により各自移動）
- ・教育研究船により海洋観測と生物採集を体験する。
- ・魚類・プランクトン・ベントスを同定・計数し、環境と生物の関係を分析する。
- ・卸売市場などを見学する。

第4回講義 日程未定「成果発表と意見交換」

- （担当：鈴木・甲斐・邊見；場所：農学部またはオンライン）
- ・講義と実習を通して学んだ成果を各自が発表し、参加者同士で意見交換を行う。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義への参加姿勢（20点）、実習への参加姿勢（40点）、成果発表と意見交換の内容や姿勢（40点）について、到達目標の達成度にもとづき評価する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

山下ほか『里海フィールド科学－京都の海に学ぶ人と自然の絆』（京都大学学術出版会，2022年）ISBN:978-4814004454

蒲生俊敬『日本海 その深層で起こっていること』（講談社，2016年）ISBN:978-4062579575

中坊徹次『小学館の図鑑Z 日本魚類館』（小学館，2018年）ISBN:978-4092083110

日本ベントス学会『海岸動物の生態学入門－ベントスの多様性に学ぶ』（海文堂，2020年）ISBN:978-4303800512

（関連URL）

<https://www.maizuru.marine.kais.kyoto-u.ac.jp/>(舞鶴水産実験所ホームページ)

[授業外学修（予習・復習）等]

参考書などに目を通し、日本海の環境と生物の概要を理解したうえで、自らの興味に応じ疑問点を整理してください。

[その他（オフィスアワー等）]

特に専門的な知識は必要ありませんが、海の環境や生物に興味のある人を募集します。フィールドでの実習を伴うため、傷害保険（学生教育研究災害傷害保険、旅行傷害保険等）に必ず加入してください。また、実習期間中の交通費や宿泊費は各自が負担することになります（京都駅から西舞鶴駅までJR特急片道3,220円、実験所宿泊棟1泊900円）。なお、第4回講義「成果発表と意見交換」を8月中旬以降に実施した場合、成績報告が通常より遅れる可能性があります。

[主要授業科目（学部・学科名）]